

事業計画（茨城県東海村）

1. 海岸防災林の再生

① 箇所名：豊岡

② 被災状況

津波により防潮堤 279mが被災した。

③ 事業計画の内容

被災した防潮堤については、治山施設災害復旧事業により復旧する。防災林造成事業により防潮堤 (2,339m) を嵩上げして機能強化を行う。

④ これまでの実施状況と今後の予定

防潮堤の復旧については、平成 24 年度に完了した。

他方、茨城沿岸津波対策検討委員会において、比較的頻度の高い津波（L1 津波）に対応する施設整備の目安となる「目指すべき堤防高」が平成 24 年 8 月に設定された。

（豊岡海岸：TP+7.0m）

このため、豊岡海岸の防潮堤については、嵩上げによる機能強化（TP+7.0m）を行うこととし、平成 25 年度に関係機関との調整を行って計画を策定した。機能強化の工事については、平成 26 年度に着手し、平成 28 年度の完了を目指す。

⑤ 平成 27 年度における成果

防災林造成事業：防潮堤の嵩上げ（369m）の実施。

⑥ 平成 28 年度の成果目標

防災林造成事業：防潮堤の嵩上げ 1,404mの実施。（豊岡海岸）

⑦ 事業完了予定年度

平成 28 年度

（保全対象：（独）日本原子力研究開発機構、日本原子力発電（株）

2. 復興まちづくり

(1) 造成宅地の滑動崩落防止

- ① 地区名：南台住宅団地、緑ヶ丘住宅団地

- ② 東日本大震災復興交付金を活用して、平成 24 年度から造成宅地滑動崩落緊急対策工事に着手。

- ③ 平成 26 年度における成果
滑動崩落防止のための工事を実施。

- ④ 平成 27 年度の成果目標
平成 27 年度事業完了予定。

- ⑤ 事業完了年度
平成 27 年度

3. 土砂災害対策

- ① 平成 23 年 8 月末までに、村内約 20 箇所の土砂災害危険箇所の点検を実施。

- ② 最大震度 6 弱を観測した東海村では、地震により地盤が脆弱になっている可能性が高く、降雨による土砂災害の危険性が通常よりも高いと考えられるため、県と気象台が連携し、平成 23 年 3 月より土砂災害警戒情報の発表基準を引き下げて運用していたが、降雨と土砂災害発生状況を考慮して基準を見直し、平成 24 年 5 月に通常基準への引き上げを実施。

- ③ 事業完了年度
平成 23 年度

復興施策の工程表(茨城県東海村)

	H23			H24			H25			H26			H27			H28			H29			H30			H31			H32					
	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月		
1. 海岸防災林 (豊岡)	防潮工の本復旧(完了)			津波対策検討後、概ね4年で防潮工の嵩上げを実施												平成28年度完了予定																	
2. 復興まちづくり (1) 造成宅地の 滑動崩落防止				緊急対策工事の ための調査・設計を実施			滑動崩落防止のための 工事を実施												平成27年度完了														
3. 土砂災害対策	土砂災害 危険箇所 の点検等			平成23年度完了																													
<small>(※) 土砂災害警戒情報の発表基準を引き下げて運用していたが、平成24年5月に通常基準への引き上げを実施。</small>																																	